

新刊案内

令和5年度

本館 7/1

	書名	著者名
日本文学	日暮れのあと	小池 真理子
	環境省武装機動隊EDRA	斉藤 詠一
	チャンバラ	佐藤 賢一
	デモクラシー	堂場 瞬一
	しおかぜ市一家殺害事件 あるいは迷宮牢の殺人	早坂 吝
	まいまいつぶろ	村木 嵐
	メロスの翼	横関 大
	永遠と横断世之介 上・下	吉田 修一
	かっかどるどるどう	若竹 千佐子
ジュニア	文通小説	眞島 めいり
	保健室経由、かねやま本館。6	松素 めぐり

今週のおすすめ本



『こはる日記』

益田ミリ//著
角川文庫

わたし、大人になってしまったら、なにを忘れてしまうんだろうー。

日常の些細な瞬間や気持ちを覚えておきたくて、15歳のこはるは日記をつけることにした。恋する気持ち、友達との関係、家族との時間……。一見ありふれた毎日のなかで、こはるの心は痛みも喜びも経験しながらゆれ動き、思春期という時間のかけがえのなさを噛み締める。



『なつやすみ』

麻生 知子//文・イラスト
福音館書店

こうたくんの家に、いとこの家族が遊びにきました。みんなでプールで遊んだ後は、家でそうめんの昼食をかこみます。昼寝から覚めたらスイカを食べて、夜は神社のお祭りへ。夜店の金魚すくいに夢中になったこうたくん、気がつくとき「あれ、みんなどこいったの？」……。ユニークな構図でえがく絵の中では、朝顔が咲き、セミが鳴き、祭りばやしの笛の音が聞こえるかのようです。かがやく夏の一日を、どうぞおたのしみください。



貸出中の場合は予約ができますのでお申し出ください。

次回の発行は、令和5年7月8日(土)です。